

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9804		事務事業名称	下水道台帳整備事業						短縮コード	経常	9804	臨時	
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	管渠費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	下水道法第 2 3 条								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
下水道台帳の整備は下水道法第 2 3 条の規定により，台帳を調整し保管しなければならないことによる台帳整備。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
単に施設台帳ではなく，下水道を総括する台帳として，多方面で迅速に有効利用できるよう整備することが求められている。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	03	維持管理の充実						
						細 項 目	03	下水道台帳の整備						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	下水道台帳の整備，保管。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 上水道台帳システム（マッピング）により，平成20年度布設分と開発等の平成20～21年度受贈分を整備した。							
	※平成22年度に計画していること： 平成21～22年度の増加分（市施工，開発移管等）を台帳に整備する。							
意図 （何を狙っているのか）	下水道維持管理の適正化と下水道施設の把握。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	下水道管総延長	km	536	542	586	602	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	下水道管布設延長	m	7, 626. 3	6, 300	49, 705. 86	16, 628. 3	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	下水道管処理普及率	%	92. 4	92. 4	92. 3	93. 1	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9804	事務事業名称		下水道台帳整備事業	所属名		建設課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	7, 960	7, 670	6, 974	15, 206	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			負担金 7, 960千円	負担金 7, 670千円	負担金 6, 974千円	負担金 15, 206千円	
人件費 (B)			千円	2, 161. 3	2, 041. 8	2, 639	2, 639	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	10, 121. 3	9, 711. 8	9, 613	17, 845	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☒ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 達成していない					
			☒ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 可能性はない					
			☒ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 見直す必要がある					
☒ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある					
			☒ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	上下水道施設管理マッピングシステムにより，今後は入力手法の見直しをし，下水道施設管理の充実を図る。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☒ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
					2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	上水道と下水道のマッピング構築にかなりの差が有るので，内容を充実するためには一時的な経費の増加を伴う。				
			☐ ない					

コード	9804	事務事業名称	下水道台帳整備事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			内容の充実を図るため、上下水道局で入力可能箇所は対応し、委託箇所を最少に抑える。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			前年度の主に辺田前土地区画整理事業の受贈が増加した等により、一時的に経費が増加するが、内容の充実が図れる。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
平成22年2月の定期監査において、下水道台帳の内容を充実させて適正化を図るよう指摘あり。									

所属長コメント	下水道法２３条の規定により、台帳を調整し保管することになっていることから、台帳の内容及び経費の見直し等を図りながら台帳の整備を充実して行きたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			マッピングシステムの見直しについては、費用対効果を検証したうえで、順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									